

ぐんま集排水だより



処理施設全景(回分式活性汚泥方式)

利根郡片品村 花咲地区

花咲地区について
教えて下さい。

花咲地区は村南西部に位置し、西側は川場村、東側は塗川を境に本村の土出・越本地区と境界を分け、南側を流れる綱沢川に沿って一般県道平川・沼田線が東西に走っています。

周辺には水田が広がり、トマト・インゲン・とうもろこし等の耕作地になつている山間田園地帯です。

また武尊牧場周辺の山岳景観にも恵まれ、近年観光開発が進みキャンプ場・スキー場・農家民宿等が営まれています。

事業への取り組みについて
教えて下さい。

花咲地区は農業集落排水事業として平成十年度に採択を受け、計画戸数二五九戸、計画人口二、四二〇人、総事業費約

14億7千万円をもつて平成十五年に事業完了しました。

処理方式は回分式活性汚泥方式を探し、処理施設の外観は周辺環境に調和するように努めました。

今後の課題等について
お聞かせ下さい。

村の汚水処理計画は、公共下水道・農業集落排水・合併浄化槽の3つの事業からなっており、農業集落排水事業計画が5地区、現在花咲地区が2地区目の実施地区となります。

当地区は平成十五年十月に供用開始され、約1年半が経過しました。

今後村内先進地として啓蒙活動を引き続き行い供用率の向上に努め、適切な管理を行っていき、これからもきれいな水・美しい自然を大切にしていきたいと考えています。



処理施設全景

群馬県における農業集落排水事業を取り巻く状況

群馬県県土整備局下水環境課

1 汚水処理事業の一元化

汚水処理事業の効率的な執行を目的に、平成16年度から汚水処理3事業(下水道、農業集落排水、浄化槽)の担当部署を県土整備局下水環境課に一元化しました。

また、農業集落排水事業については、平成17年度からは県内5カ所に設置する県民局県土整備部の5土木事務所が、市町村との連絡調整を担当することになります。

2 事業の実施状況と今後の予定

平成15年度までに35市町村の合計108地区(計画処理人口135,480人)で着手され、平成17年度から平成24年度までの間に26地区で事業化が予定されています。

3 汚水処理人口普及率

下水道、農業集落排水、浄化槽、コリコラを併せた汚水処理人口普及率は、平成15年度末時点では59.8%と、全国平均の77.8%に対し大きく立ち後れています(全国35位)。その内訳は下水道41.5%、農業集落排水5.1%、浄化槽11.7%、コリコラ15%となっています。

5 新規制度と平成17年度予算の概要

農業集落排水事業は、今後の新規採択地区が平成20年度をピークに増え続け、近年の県予算の縮減傾向と相まって県費補助金の確保が困難な状況となっています。

このため、これまでの10%県費補助制度を廃止し、代わりに農業集落排水施設整備促進交付金制度を創設し、対応することとしました。

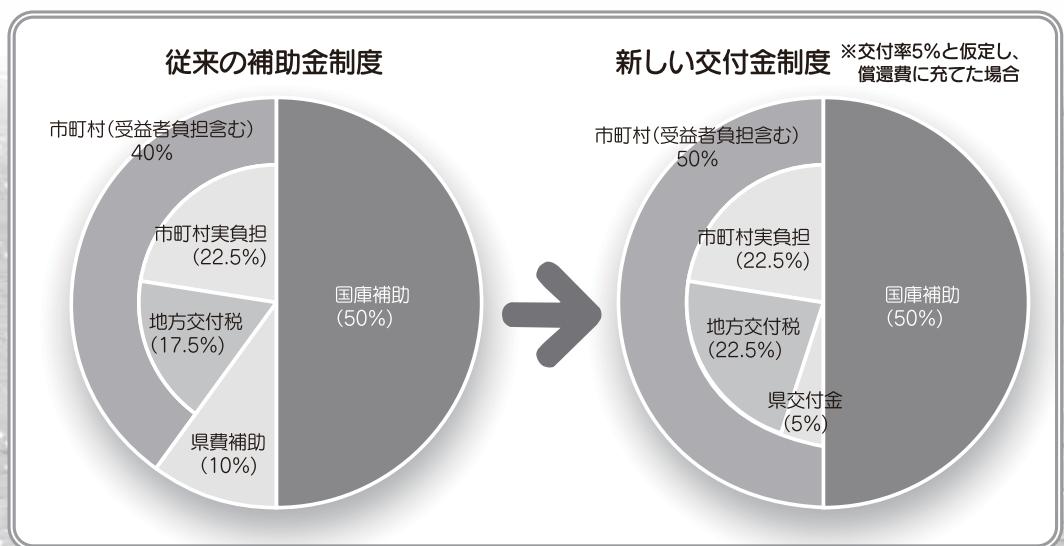
この制度では、当該年度に市町村が行う農業集落排水事業における国庫補助対象事業費に対し、5%を上限として県の予算の範囲内で交付金を交付します。

交付金の使途は工事費又は下水道事業債の償還費とし、償還費に充てた場合は起債対象額から控除する必要がないため、その分多く起債を起こすことができ、国から市町村に交付される地方交付税が増額となります。

この交付金の平成17年度県予算は約150百万円で、交付率は約4.1%となっています。

4 平成17年度新規採択希望地区

白川東(富士見村)、広馬場(榛東村)、あづま西部(吾妻東村)、半出来(嬬恋村)、福岡西・神梅(大間々町)、菅沼(片品村)の6地区で、菅沼は主として処理場の改修を行つ機能強化事業(※1)地区となっています。



(※1)農業集落排水施設機能強化対策事業

既に供用を開始して7年以上経過している農業集落排水施設で、計画を上回る人口の増加、排水基準の上乗せ規制、不測の事態による施設の劣化等による処理施設等の更新・改造工事について、国庫補助事業として実施することができます。
尚、施設の更新または改造の要否、工法等について調査診断する事業として、農業集落排水維持適正化事業があります。

この美しい環境を大切に

花の駅・片品

支配人 木下 浩美

環境に「かえり」の影響を少なくして、次世代の子供達が住みよい環境づくりに努力する必要があるとおもいかじりです。

河川の上流部に住む人間の責任として使った水はきれいな水に戻して放流しなければなりません。また、下流に住む人達も、それを当たり前と思うのではなく、上流双方が協力し、より良い環境づくりを考えていなければなりません。

続々晴れて胸を張る人が出来る気がいたします。これを更なる契機として、これからも名実共に環境を大切にした施設・地域として様々な活動に取り組んでいこうと思つてこの次第です。

清流を守るために 糸井三ツ谷処理区

後藤 忠彦

当館は、片品村花咲（ハナサク）地区にあります。いは上州武尊山の麓で、230世帯が住むとてもほのぼのとした地域です。地図の花いっぽいの里にしようと地域の有志が集まり花植え活動が始まり、それがきっかけとなり地域振興の核となり7年前にこの建物が出来ました。役場等と共に地域全戸が出資して第3セクターをつくり運営を行つています。「花」＝「環境」をテーマに、ナチュラルオーガニックガーデンにも取り組んでいます。デッキの防腐剤にはワサビやレバ油などを使用。

「ここから流れる水で下流を汚さない」というような気持ちでいます。この地域に農集排をつくる計画は、この建物の建設計画と同じ頃だったと思います。農集排使用開始は建物オープン後で、浄化槽を使つての運営が数年ありました。

この期間、環境を重視している施設として正直言つてもして心苦しがりました。この度、農集排に接

利用者の
吉

昭和村には『清流を守る会』といふNPO法人があり、水に影響を与える環境をきれいにしていくと仲間たちと一緒に住める環境づくりをしようとした小川などを清掃・整備しています。

昭和村では平成12年7月に農業集落排水事業の供用が開始され、現在63%くらいの供用率（352戸が現在加入）ですが、少しでも多くの人に加入してもらいたいと思います。なぜなら少しでも

中之条町立第一小学校の蟻川千晴さんが
「国際コメ年特別賞」を受賞



平成15年	4月・監事会及び監査 5月・役員会及び代表幹事会 6月・第13回通常総会並びに研修会（前橋市内） 6～10月・農業集落排水に関する絵画コンクールの実施 10月・農業集落排水に関する絵画コンクール表彰式（群馬県庁昭和庁舎 正庁の間） 11月・改良普及員及び農業集落排水事業担当者研修会（東京都） 11月・現地研修会（桜川村堆肥センター「元気館さくらがわ」 茨城県桜川村）
平成16年	1月・機関誌「ぐんま集排だより」（8号）37,500部発行 2月・全国農業集落排水事業推進協議会第14回通常総会（東京都）

平成15年度 事業報告

平成15年4月
～平成16年3月

絵画コンクール作品紹介

題名: 田んぼの間の小道で散歩!

上毛新聞社賞

伊勢崎市立
三郷小学校
5年生
服部 奈々江さん

(テーマ)まわりが田んぼで歩くとまわりが広々として気持ちいいんだろうなと思うことを歩いている私、ヘット、お母さんをかきました。

題名: 魚釣り

最優秀賞
(群馬県知事賞)

子持村立
長尾小学校
6年生
島田 開くん

(テーマ)川の遠くと近くを工夫しました。

題名: さりがに釣り

協議会長賞

館林市立
第四小学校
3年生
笠原 由貴さん

(テーマ)夏になるとあみといか(えさ)をもって、さりがにを釣りにいきます。さりがにがおもしろいようにとれます。田んぼがあるからたのしく釣りができるということで、田んぼとさりがにに釣りをしているところを描きました。

題名: 近くの水田

連合会長賞

前橋市立
大室小学校
6年生
内藤 友希さん

(テーマ)私の家の近くで、学校に行くときいつも見る水田と川で、暑くても田や川から涼いてくる風は気持ちがいい。

絵画コンクールについて

農村地域の環境保全と農業集落排水事業の啓発・普及を目的に、21世紀を担う子供達の視点から環境保全へのメッセージとして、絵画コンクールを開催したところ、11市町村16小学校から222作品もの応募がありました。

審査については、専門知識者による事前審査、本協議会役員、代表幹事、群馬県、土地改良連合会の関係者が審査し、最優秀賞(群馬県知事賞)、上毛新聞社賞、連合会長賞(群馬県土地改良事業団体連合会長)、協議会長賞(群馬県農業集落排水事業連絡協議会長)と優秀賞6作品、佳作10作品を決定しました。



絵画コンクール表彰式開催

絵画コンクールの表彰式が、平成16年10月16日(土)に群馬県庁昭和庁舎の正庁の間で開催されました。

表彰式には、受賞者の父兄や先生、行政の関係者をはじめ多数の来賓を迎えて盛大に開催されました。

当日、県庁では第11回収穫感謝祭が行われ「ぐんまの農業農村整備」のコーナーに受賞作品を展示しました。



家庭での心がけ

農業集落排水処理施設は自然ときれいな水、快適な生活環境をつくるみんなの財産です。大切に使いましょう。
また、家庭でのちょっとした心がけで、きれいな川を守る手助けができます。

- ◆洗剤を利用するときは無リン洗剤を使う
- ◆台所の調理くず・てんぷら油等は流さないようにする
- ◆水洗トイレには溶ける紙を使用する
- ◆風呂場や洗面所の排水口に髪の毛、糸くず等を流さない

